

2014年度 センター試験 本試験 世界史 B

第1問 世界史上の帝国とその危機

出題範囲	8世紀～21世紀の危機
難易度	★★★★☆
所要時間	10分
傾向と対策	2014年度の第1問は、世界史上の危機をテーマとした問題だった。Aはイスラエルがシナイ半島を占領したのが第何次中東戦争なのかを覚えていなければならない問2が難しい。中東戦争全体の流れを把握してから、個々の戦争の内容を覚えておくといいだろう。Bは問5が難しく地図を用いた学習を日頃から心掛けたい。また、東南アジアの島の位置関係はよく問われるのでしっかりと把握しておこう。Cは問8で少し戸惑うかもしれないが、東ドイツとソ連の関係を考えれば解けるはずだ。

A

問1 1 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、東アジア文化圏の形成で、唐の滅亡に関する問題。中国のキーワードは漢字が多く覚えづらいかもしれないが、どの言葉も教科書の太字レベルに重要なので確実に暗記しよう。

ア **黄巢の乱**が入る。唐が財政危機に陥ると、国は塩の専売を行い財源の確保を図った。その際、塩の密売者は厳しく取り締まられた。山東の塩密売人であった**王仙芝**が蜂起し、**黄巢**を指導者として反乱が起こった。反乱は全国に広がり唐の支配体制を大きく揺るがした。また、唐の支配体制が弱まっていた証拠として**894年**、日本で遣唐使が廃止されたことと関連付けて覚えるとよいだろう。

※**呉楚七国の乱** 前漢の時代に初代皇帝**高祖**（劉邦）が統治制度として封建制と郡県制を併用した**郡国制**を採用した。第6代皇帝の景帝は諸侯権力の削減を図る方針を取った。七国の諸侯がこれに抵抗し呉楚七国の乱を起こした。乱が鎮圧されると、実質的に郡県制と変わらない中央集権体制が成立した。

イ **朱全忠**が入る。黄巢の部下でのちに**節度使**となった朱全忠が唐を滅ぼした（**907年**）。朱全忠は汴州（**開封**）を都として**後梁**を建国した。以後50年間、華北では節度使が建てた五つの王朝が交代し、江南・華南では10余国が興亡を繰り返した。この時代を**五代十国**（907年～979年）という。

※**張角** 後漢の人物で華北の宗教結社、**太平道**の指導者。**黄巾の乱**を起こし、後漢の支配体制を揺るがした。以後、各地で群雄割拠の時代が始まる。220年曹操の子**曹丕**が魏を建国し後漢は滅んだ。

問2 2 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

世界史上の危機に関する問題。出題分野は①東アジア諸地域の自立化、②世界恐慌とファシズム諸国の侵略、③第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り、④石油危機と世界経済の再編、である。誤りを含む選択肢を選ぶことに留意する。第1次から第4次までのそれぞれの中東戦争の内容を把握することは難しいだろうが、消去法で①と③に絞れるだろう。難解な事柄ほど流れを正確につかむことが必要となる。

- ① 正 12世紀、北方の騎馬遊牧民族である**金**が**華北**を占領し、**北宋の都開封**を陥落させた。上皇の徽宗と皇帝の欽宗が捕らえられ、北宋は滅亡した。これを**靖康の変**という。欽宗の弟、高宗は江南に落ち**臨安**（現在の杭州）を都として**南宋**を建国した。
- ② 正 1929年10月24日、アメリカ合衆国の**ニューヨーク株式市場**（**ウォール街**）で株価が暴落した（**ブラック・サザデー**の木曜日）。世界経済・金融の中心であるアメリカに端を発した大恐慌は全世界に波及し、**世界恐慌**と呼ばれた。
- ③ 誤 「第1次」ではなく「**第3次中東戦争**」。中東戦争はイスラエルとアラブ世界の対立によって起こった戦争である。現在も国際平和を脅かす大変大きな問題で、利害が複雑に絡みあっていて解決の糸口が見えない。「整理」に第1次から第4次までの中東戦争にかかわる時代の流れをまとめた。
- ④ 正 1986年、ウクライナにある**チェルノブイリ原子力発電所**で史上最悪の事故が発生した。管理体制や情報提供の欠陥が明らかになり、改革の必要性が広く認められた。この事故を契機に**ゴルバチョフ**は**ペレストロイカ**（改革）を掲げて、ソ連の政治・社会体制の全面的見直しに着手した。

◆整理 中東戦争年代史

年号	出来事	説明
1947年	国連総会でパレスチナ分割案が採択	アラブ人（パレスチナ人）の反発
1948年	イスラエル 建国 第1次中東戦争（パレスチナ戦争）	アラブ連盟 による反対 イスラエルがアラブ連盟に勝利。占領地を拡大。百万人を超えるパレスチナ難民が発生した。
1952年	エジプト革命	ナギブ・ナセルらの指導する自由将校団が王政を打倒。 まもなく ナセル が大統領になり、積極的中立を唱えて社会主義国に接近。→米英はアスワン＝ハイダムの建設資金援助を停止。
1956年	エジプト、 スエズ運河国有化宣言 第2次中東戦争（スエズ戦争）	英・仏・イスラエルがエジプトに侵攻 国際世論の批判（米ソの警告）で撤兵。 エジプトがアラブ民族主義の指導的地位に

1964 年	パレスチナ解放機構 (PLO) の結成	
1967 年	第 3 次中東戦争 (六日間戦争)	イスラエルがエジプト・シリアを奇襲。 シナイ半島 (エジプト) ゴラン高原 (シリア) ガザ地区 (パレスチナ) ヨルダン川西岸 (ヨルダン) を占領
1968 年	アラブ石油輸出国機構 (OAPEC) 結成	
1973 年	第 4 次中東戦争 (十月戦争)	エジプト・シリア, イスラエルに反撃 OAPEC が石油戦略を発動
	第 1 次石油危機	先進工業国に打撃
1979 年	エジプト = イスラエル平和条約	サダト大統領 (エジプト), イスラエルと和解 シナイ半島の返還

問 3 3 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は東アジア文化圏の形成で、両税法に関する問題。法律には施行された背景があり、背景は多くの重要事項と繋がっている。その背景をしっかりと理解しよう。

- a 正 皇帝玄宗の治世に人口が増加し商業が栄えた。それに伴い農民の間に貧富の差が開き、没落して逃亡する農民が増えた。これによって、人民と土地を一括で管理する制度である均田制・租庸調制・府兵制は崩壊した。そのため 780 年、租庸調制に代わって両税法が採用された。
- b 誤 両税法を提案したのは宰相の楊炎である。よって、a - 正, b - 誤の組み合わせになる②が正解。

※両税法 現住地で所有する土地・資産に応じて夏秋 2 回課税する制度。

※司馬光 しばこう 北宋の政治家で王安石 おうあんせき による政治改革新法に反対した旧法党のリーダーとして知られる。歴史家としても有名で編年体の通史『資治通鑑』 しじつがん を著した人物である。

B問 4 4 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

東南アジアに関する問題。出題分野は a 南アジア・東南アジアの植民地化, b 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り, c アジア・アフリカ地域の民族運動である。年号暗記ではなく、同時期に起きた出来事との関連で答えを導こう (インドシナ共産党→民族運動, スハルト→第三世界)。また、試験に直接関係無さそうな豆知識も正解を連

想する手助けになる。

a **ラタナコーシン朝**はタイの現王朝である。1782年、チャクリ（ラーマ1世）によって建国された。インドシナ半島は18世紀の後半に大きな変動があり、19世紀初めには今日のインドシナ半島の諸国家の大枠が完成すると覚えるとよい。

※ベトナム→18世紀後半、西山党の反乱によって黎朝は滅亡し、西山朝が成立した。次いでフランスの支援を受けた**阮福暎**^{げんふくえい}が西山朝を倒して阮朝大越国が成立した。

※ミャンマー→18世紀後半、中国人の反乱をきっかけにトウングー朝（1531年～1752年）が滅びると、**コンバウン朝**（1752年～1885年）がミャンマーを統一した。コンバウン朝は1767年タイの**アユタヤ朝**（1351年～1767年）を滅ぼした。

b **スハルト**は**冷戦期**のインドネシア大統領である。1965年、**九・三〇事件**と呼ばれる軍事クーデターが起こると**スカルノ**大統領は失脚し、軍部が政権を握った。1968年、**スハルト**は大統領に就任し工業化・近代化を開発独裁によって押し進めた。**スカルノ**と**スハルト**は受験生が間違えやすいので注意したい。五十音順で早い**スカルノ**の方が時代が早いと覚えるとよいだろう。ちなみに**スカルノ**は、テレビバラエティー番組でも有名な**デヴィ・スカルノ**夫人の元夫である。

c **第一次世界大戦後**、フランスが支配するインドシナでは再び民族運動が広がっていた。1925年**ホー＝チ＝ミン**はベトナム青年革命同志会を結成し、コミンテルンの支援によって1930年、**インドシナ共産党**に発展した。インドシナ共産党は反仏、のちに反日の主体として活躍する。

よって、a→c→bの順番になる④が正解。

問5 5 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

ジャワに関する問題。出題分野は①モンゴルの大帝国、②ヨーロッパ諸国の海外進出、③インドの古典文明、④東南アジアの諸文明である。誤りを含む選択肢を選ぶことに、まず留意しよう。世界史を勉強する際にはキーワードだけでなく地図上の位置も確認しながら進めよう。特に東南アジアの諸王朝は受験生が最も苦手とする分野の一つである。確実に得点源にして差をつけよう。また、③のように教科書に登場しないレベルの選択肢もときどき登場する。知らないからといって安易に選んでしまわないように気を付けよう。

① 正 13世紀、元の皇帝**フビライ＝ハン**は**ジャワ**に遠征軍を送ったが、強い抵抗に遭い失敗に終わった。騎馬遊牧民族国家である元は、船を用いた戦闘に不慣れで、海上進出の多くが失敗している。

※失敗例→日本（文禄・弘安の役）、ベトナム、チャンパー、ジャワ

② 正 1602年、オランダは**東インド会社**を設立し、インドネシアの**バタヴィア**を拠点に香辛料貿易の実権を握った。

③ 正 ワヤン（ワヤン＝クリット、ワヤン＝クリ）は**ジャワ伝統**の影絵芝居である。インドの**グプタ朝**で生まれた叙事詩『**ラーマーヤナ**』を基としている。

- ④ 誤 **パガン朝**が起こったのはジャワではなく**イラワディ川下流域**（現在のミャンマー）。セイロン島（スリランカ）との交流により**上座部仏教**が広がっていた

問 6 6 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

貿易に関する問題。出題分野は **a** 東アジア世界の動向, **b** 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立, である。琉球のキーワードは朝貢貿易・日中両属・琉球処分で覚えよう。中国は周辺地域に多大な影響力を及ぼしている。中国諸王朝と周辺国の関係を横の繋がりで把握しよう。貿易の形態は特に大航海時代以降のヨーロッパにおいて非常に重要な意味を持つてくる。用語だけでなく内容まで理解しておこう。

- a** 正 **琉球王国**（現在の沖縄）は 15 世紀に中山王尚巴志によって統一された（都：首里）。**明との朝貢貿易**によって得た物資を用いて、東シナ海と南シナ海を結ぶ交易の要として栄えた。17 世紀初めには日本の薩摩藩（島津氏）による攻撃を受け占領された。以後、1879 年の明治政府による琉球処分によって琉球王国が滅亡するまで、日本と明清に両属する日中両属の状態が続いた。
- b** 誤 「保護貿易の強化」ではなく「**自由貿易の推進**」が正しい。1929 年に起こった**世界恐慌**によって列強は保護貿易的な**ブロック経済圏**を次々に構築していった。しかし、アメリカ（ドル=ブロック）、イギリス（**スターリング=ブロック**）、フランス（フラン=ブロック）といった「持てる国」に対してドイツ、イタリア、日本といった「持たざる国」の不満が広がり第 2 次世界大戦を引き起こす原因の一つになった。この反省から、戦後の国際経済は自由貿易の推進が基調になっている。**GATT**（関税と貿易に関する一般協定）は 1995 年 **WTO**（世界貿易機関）に発展的に解消し、今に至っている。

a - 正, b - 誤になる組み合わせの②が正解。

C

問 7 7 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

ヨーロッパ統合に関する問題。出題分野は戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立, 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興である。近現代史は現代とのつながりの中で理解しよう。

- ア** **アデナウアー**が入る。**アデナウアー**は第二次世界大戦によって壊滅的な状態になっていた西ドイツに「**奇跡の経済復興**」をもたらした冷戦初期の首相である。1954 年にはパリ協定によって西ドイツの主権を回復し、1955 年に **NATO** 加盟, 1956 年に再軍備を果たした。ヨーロッパ統合にも尽力し **EEC**（ヨーロッパ経済共同体）の設立に参加した。一方、東ドイツとの格差は拡大し、在任中の 1961 年に東ドイツによってベルリンの壁が築かれた。

※**コール** 冷戦終結期に東西ドイツの統一を進めた西ドイツの首相。国内では国内事業の民営化, 自由化路

線を推進し、それまでの福祉社会の軌道を修正する政策を取った。

イ **ヨーロッパ原子力共同体 (EURATOM)** が入る。2 回の世界大戦の舞台となったヨーロッパでは両大戦の反省に立って経済を発展させるためにエネルギー資源や工業資源を共同で管理し、相互の対立を防止しようという構想が現れた。

※**ヨーロッパ自由貿易連合 (EFTA)** EEC に対抗してイギリスを中心に結成された機関。**European Free Trade Association** の頭文字をとっている。イギリスは脱退したが現在も存続している。現メンバーはアイスランド・ノルウェー・スイス・リヒテンシュタイン。

◆整理 ヨーロッパ統合の歴史

年代	出来事	説明	加盟国
1952 年	ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体 (ECSC) European Coal and Steel Community	フランス外相 シューマン が提案 (シューマン=プラン) 石炭と鉄鋼を共同で管理 仏, 伊, 西独, ベネルクスが加盟 (西欧) (ベネルクス=ベルギー, オランダ, ルクセンブルク)	6 개국
1958 年	ヨーロッパ経済共同体 (EEC) European Economic Community	域内関税の引き下げ, 共同の農業・商業政策, 資本・労働力移動の自由化	
	ヨーロッパ原子力共同体 (EURATOM) Europe + Atom (原子)	域内への原子力エネルギーの提供	
1967 年	ヨーロッパ共同体 (EC) European Community	上記 3 共同体の合併	9 개국
1973 年	拡大 EC に発展	イギリス・アイルランド・デンマーク加盟 (元 EFTA)	
1980 年代		ギリシア・スペイン・ポルトガル加盟 (南ヨーロッパ) ← 1970 年代に議会制民主主義に移行	12 개국
1990 年	東西ドイツ統一	東ドイツが編入	
1992 年	マーストリヒト条約調印		
1993 年	ヨーロッパ連合 (EU) European Union	共通の外交・欧州市民権・単一通貨制度を目標	15 개국
1990 年代		オーストリア・スウェーデン・フィンランド加盟 (中欧・北欧)	
2000 年代		東欧・地中海諸国 加盟	28 개국

問 8 8 正解は④

難易度 ★☆☆☆☆

解説

ドイツの分割占領に関する問題。出題分野は戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立。世界史を勉強する際にはキーワードだけでなく地図上の位置も確認しながら進めよう。占領していた国はそれぞれ **a** がフランス、**b** がイギリス、**c** がアメリカ、**d** がソ連である。よって、正解は④。

第二次世界大戦後ドイツは上記 4 か国に分割統治されていた。気を付けてほしいのはドイツ全体が 4 分割されていただけでなく、ソ連管理区域内にあるベルリンも 4 か国に分割統治されていたという点だ。ベルリンは東ドイツと西ドイツの境界にあるわけではない。

1945 年、米・英・ソが行ったポツダム協定においてフランスを含めた 4 国による分割占領と共同管理、旧首都ベルリンの分割管理民主化の徹底などが採択された。東西対立が悪化すると、ドイツでの米・英・仏管理地区とソ連管理地区の分断が進んだ。1948 年、西側占領地域における通貨改革にソ連が反発し、西ベルリン（設問中の **a・b・c** 地区）への水・陸両連絡路を封鎖した（ベルリン封鎖）。アメリカを中心とする西側陣営は空輸作戦によって対応し、この危機を乗り切った。ベルリンが東ドイツ内部にあるからこそ起こった危機であるといえよう。ベルリン封鎖をきっかけに東西ドイツの分裂は決定的となり、ドイツ連邦共和国（西ドイツ 首都：ボン）とドイツ民主共和国（東ドイツ 首都：東ベルリン）に分断された。西ドイツはアデナウアー首相のもとで経済復興を遂げ、パリ協定で主権を回復した。西ドイツの復興は東ドイツとの経済格差を招き、東ベルリンから西ベルリンへの脱出者が増加したため 1962 年、ベルリンの壁が築かれた。

※オーストリア ドイツから分離され、同様に 4 国による共同管理を受けたが、1955 年のオーストリア国家条約によって中立国として独立を回復した。

◆参考 東西ドイツの正式名称

東西ドイツの正式名称が覚えられず、混乱する人は多いのではないだろうか。共産主義諸国は民主とつく国が多いと覚えよう。

- ・東ドイツ：ドイツ民主共和国（西ドイツ→ドイツ連邦共和国）
- ・北ベトナム：ベトナム民主共和国（南ベトナム→ベトナム共和国 ※ベトナム戦争時）
- ・北朝鮮：朝鮮民主主義人民共和国（韓国→大韓民国）

◆地図 ドイツの分割占領



後の西ドイツ	イギリス管理地域
	フランス管理地域
	アメリカ管理地域
後の東ドイツ	ソビエト管理地域

ベルリンの分割



問9 **9** 正解は②

難易度 ★☆☆☆☆

解説

EUに関する問題。出題分野は社会主義世界の変容とグローバル化の進展で、非常に簡単な問題なので確実に得点したい。新聞やニュースなどで時事問題にも目を通そう。②のユーロはEUにおける共通通貨である。正解は②。他は、①ドル：アメリカ ③ポンド：イギリス ④マルク：かつてのドイツ（ユーロ導入前）。EU加盟国の中にはイギリス（通貨はポンド）のようにユーロを導入していない国もあり注意が必要である。

◆参考 世界各国の通貨

覚えておきたい通貨についてまとめた。

ドル：アメリカ ユーロ：EU（イギリス・デンマーク除く） ポンド：イギリス 円：日本

人民元：中国 ウォン：韓国 ルーブル：ロシア リラ：トルコ レアル：ブラジル

ルピー：インド 台湾元：台湾 香港ドル：香港 シンガポールドル：シンガポール バーツ：タイ

マルク：ドイツ（ユーロ導入前） フラン：フランス（ユーロ導入前）

（制作：安達滉一郎，今村優太）

2014 年度 センター試験 本試験 世界史 B

第 2 問 世界史における家族や社会集団

出題範囲	3 世紀～ 20 世紀の家族, 社会集団
難易度	★★★☆☆
所要時間	10 分
傾向と対策	2014 年度の第 2 問は, 世界史における家族や社会集団をテーマに出題された。A では, おそらく問 2 が難しいだろう。社会についての問題であり, 単純に語句を覚えるだけでは, 正解できないため, 日頃から教科書などを読むことを心掛けておこう。B は, 問 6 のインドの古典文明が少し難しい。文化に関する用語は覚えていても, それがいつの時代のことなのかを把握していない人は多いだろう。用語と時代の関連性についても, 抜けがないように学習をしておきたい。C は年号を問うものが多い。年号に関しては, 正確に覚えるのは大変なため, さまざまな出来事と関連づけて, 起こった時代を把握しておこう。

A

問 1 10 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は, モンゴルの世界征服とモンゴル帝国に関する問題。三部会やフビライは超重要用語や人名である。

ア クリルタイが入る。クリルタイとはモンゴル語で集会の意味。有力者が集まって, **ハン (君主) の選出や遠征など重要な事柄を合議の上決定**した。1206 年のクリルタイでは, 高原東北部の有力者テムジンがハン位に選ばれ (**チンギス=ハン**), **モンゴル帝国**形成の起点となった。

イ **フビライ (クビライ)** が入る。**フビライ**は第 5 代の**大ハン**であるとともに**元**の初代皇帝である。第 4 代**モンケ=ハン**没後, 大ハン位を巡り**フビライ**と**ハイドゥ**が後継者争いを繰り広げた。1260 年に**フビライ**が大ハン位についてからも反発は続き, **ハイドゥの乱**が勃発したが, **フビライ**に鎮圧された。このとき**ハイドゥ**を**キプチャク=ハン国**・**チャガタイ=ハン国**が支援し, 元と争ったため, **モンゴル帝国**の分裂は決定的となった。

※**三部会** フランスの身分制議会。1302 年, カペー朝最盛期の王, **フィリップ 4 世**によって開かれた。聖職者 (第一身分)・貴族 (第二身分)・平民 (第三身分) それぞれの代表が参加した。王は課税の要請や各身分からの支持を得て王権を強化する, 各身分の代表者は政治に参加できるという利点があり開催された。三部会の支持を得た王は王権を強化し, 対立していた教皇**ボニファティウス 8 世**を捕らえるという**アナーニ事件**を起こした。フィリップ 4 世はその後, 教皇庁を南フランスの**アヴィニョン**に移し, 約 70 年間教皇をフランス王の支配下に置いた (**教皇のバビロン捕囚**)。

問 2 11 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は①中国の古典文明、②北方民族の活動と中国の分裂、③東アジア文化圏の形成、④清の中国と隣接諸地域。漢人社会に関する問題。社会に関する選択肢が多く難しいだろう。重要単語との結びつきで考えよう。

- ① 誤 豪族が勢力を持つようになったのは「春秋時代」ではなく「漢代または魏晉南北朝時代」。中国で豪族が登場するのは、鉄器が普及し農業生産力が向上した春秋戦国時代（B.C.770年～B.C.221年）。彼らが中央政界に進出するのは前漢の武帝が官吏登用法に郷举里選きょうきょりせんを採用してからである。この文は適当でない。地方長官の推薦による官吏登用法だが、地方長官は豪族の影響下に入ってしまう、豪族の官僚化を進めた。魏の時代には新たな官吏登用法である九品中正法きゅうひんちゆうせいほうが実施された。中央任命の中正官が人物を九品等に分けて推薦する制度であるが、中正官すら豪族の影響から逃れられず、かえって豪族の門閥貴族化を進めてしまった。
- ② 正 漢が滅亡し、三国時代になると孫権によって呉が江南地方に建国された。呉の首都は建業けんぎょう（現：南京）に置かれ、以来長江流域の中心として栄えることになる。呉は280年西晋せいしんに滅ぼされるが、五胡ごこが華北に侵入すると西晋は滅亡し、都を建康（＝建業）に移して東晋とうしんが成立した。華北は五胡十六国が興亡したために混乱し、江南に移住する人が増加した。その後の南北朝時代にも南朝では大半が禅譲によって四つの王朝（宋・齊・梁・陳）が興亡したため、優雅な貴族文化が栄え、華北からの移住者が多かった。よって、この文は適当。比較的安定した江南で栄えた六つの王朝のことを六朝りくちよう（呉・東晋・宋・齊・梁・陳）といい、そこで栄えた文化を六朝文化という。
- ③ 誤 小作農は「消滅した」のではなく「増加した」。商業都市開封に都をおいた宋では、商業の発達に伴って貨幣経済が発展した。貧富の差が拡大し、富裕になった人々は土地を買い集めて地主となり（形勢戸けいせいこ）、小作料をとって佃戸でんこに耕作させることが一般化した。佃戸と地主の関係は対等な土地の貸借関係から隷属関係までさまざまだったという。この文は適当でない。
- ④ 誤 「東南アジアから流入した」のではなく「東南アジアに流出した」。清は呉三桂らによる三藩の乱さんばんの平定のために三藩（雲南・広東・福建）に出兵した。乱は平定されたが、主戦場となった三藩の農民は困窮した。そのため、福建・広東の住民は新天地を求めて東南アジアに移住した。彼らは農村と国際市場を結ぶ商業網を握って経済力を伸ばし、後の南洋華僑の基になった。この文は適当でない。

問 3 12 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は a ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成、b 北方民族の活動と中国の分裂。有力者層に関する問題。中国における官吏登用法は頻出である。

- a 誤 ユンカーはドイツに存在した地主貴族。11世紀から13世紀にかけて行われた十字軍によって、西ヨーロッパ人の視野が広がった。加えて11世紀に封建社会が安定し、農業生産力が上昇するとドイツ国内で人

口増加が問題になっていった。そのため、かつてスラヴ人やマジヤール人が住んでいたエルベ川以東の地に 12 世紀～14 世紀にかけてドイツ人による大規模な植民が行われた（**東方植民**）。15 世紀以降は領主（**ユンカー**）が農奴への支配を強め、直営地を広げて大農場を経営し、西ヨーロッパ向けの穀物生産を大規模に行った（農場領主制）。また、**ユンカーは地方行政を担当し、君主の権力を支えた**。ドイツ統一時に活躍した**ビスマルク**もユンカー層出身である。

- b 誤** 九品中正法は**魏代**。魏の時代には**郷挙里選**に変わる新たな官吏登用法である**九品中正法**が実施された。中央任命の中正官が人物を九品等に分けて推薦する制度であるが、中正官すら豪族の影響から逃れられず、かえって**豪族の門閥貴族化を進めてしまった**。当時の様子は「上品に寒門なく、下品に勢族なし」と言われた。

以上より、**a - 誤**、**b - 誤**の組み合わせになる**④**が正解。

B

問 4 **13** 正解は**④**

難易度 ★★★☆☆

解説

古代インドに関する問題。現代に残るカースト制度とのつながりで覚えよう。

ア ヴァルナが入る。B.C.1000 年を過ぎると**アーリヤ人**は西北インドから**ガンジス川**流域へ移動を開始した。移動する中で青銅器に代わり開墾に適した鉄製農具が用いられるようになっていった。アーリヤ人は移動した土地で先住民と交わり、定住農耕社会を形成した。その過程で生まれたのが**ヴァルナ制**と呼ばれる身分的上下観念である。これはインド社会独特の身分制度であった**ジャーティ**と交わり、長い時間をかけてインドの身分制度である**カースト制度**を形成していく。

イ クシャトリヤが入る。ヴァルナ制は大きく以下の四つの身分に分かれている。

バラモン → 司祭（僧侶）。宗教儀式を司る。

クシャトリヤ → 武士・貴族。政治・軍事を担当。

ヴァイシャ → 庶民。農業・牧畜・商業などに従事。

シュードラ → 奴隷。被征服民。

時代を経るとともにヴァイシャは商人を、シュードラは農民・牧畜民を指すようになっていった。また、これら四つの身分の下に、不可触民と呼ばれる被差別民が存在する。

問 5 **14** 正解は**②**

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は **a** 西ヨーロッパ世界の成立、**b** 西ヨーロッパ中世世界の変容。ドイツの支配者に関する問題。ヨーロッパを理解する上で家系は重要な役割を持つ。正解は **a - 正**、**b - 誤**の組み合わせとなる**②**。

- a **正** 東フランク（現：ドイツ）は911年にカロリング朝が断絶すると各部族を支配する諸侯の選挙で王が選ばれた。ザクセン朝のオットー1世はマジャール人やスラヴ人の侵入を退け、北イタリアを制圧して、962年、教皇からローマ皇帝の位を与えられた。神聖ローマ帝国（962年～1806年）の始まりである。
- b **誤** 神聖ローマ皇帝は「ホーエンツォレルン家」ではなく「ハプスブルク家」から選出される。皇帝はローマ帝国の後継者としてローマ占領に躍起になっていた（イタリア政策）。そのため、ほとんど国内の統治をせず、諸侯の勢力が伸張り、実質的に分裂状態に陥っていた。1256年シュタウフェン家が断絶すると、皇帝が乱立し、事実上皇帝不在の時代になった（大空位時代）。皇帝カール4世は1356年に、「金印勅書」を發布して聖俗の七選帝侯による皇帝選出選挙を承認した。15世紀前半以降はオーストリアのハプスブルク家から選出されるようになり、帝国の統一に努めたが、国内には諸侯・自由都市などの300の領邦が分立しており、統一は失敗した。

※ホーエンツォレルン家 プロイセン公国・プロイセン王国の王家。1871年にドイツ統一を果たし、ドイツ帝国の帝位を継承した。ハプスブルク家が治めるオーストリア帝国とホーエンツォレルン家が治めるドイツ帝国は、第一次世界大戦とともに倒れている。

問6 **15** 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野はインドの古典文明。誤りを含む選択肢を選ぶことに、まず留意しよう。文化は時代ごとに共通した特徴を持っている。時代背景と共に特徴を理解しておこう。

- ① **正** **グプタ朝**（320年頃～550年頃）は、インド古典文化の黄金期と呼ばれるほど文化が興隆した時代である。美術に関しては、クシャーナ朝（1世紀～3世紀）までアレクサンドロス大王の東方遠征以来のヘレニズム文化の影響を受けたガンダーラを中心とする仏教美術が卓越していた。グプタ朝期にはそこから脱却し、純インド的な表情を持つグプタ様式が成立した。アジャンターやエローラにある石窟寺院が代表的である。文は正しい。
- ② **正** **サンスクリット語**（梵語）で書かれた二大叙事詩の完成はグプタ朝期である。マハーバーラタはバラタ族の二王族間の戦いの物語をまとめたもの。ラーマヤナは英雄ラーマが魔王ラーバナと戦い、誘拐された妻シータを取り戻す物語。ラーマヤナは後にジャワ島に伝わり、「ワヤン」という影絵芝居として発展した。文は正しい。
- ③ **誤** **ウパニシャッド哲学**が興ったのは**B.C.7世紀**なので、文は誤り。部族社会が互いに結びつき都市国家を作り始めていた当時、国家統合の進展・商業の発達に伴い、クシャトリヤ・ヴァイシャが勢力を増大し、バラモンによる支配に不満を募らせていた。そこでバラモン教では改革運動が起こった。バラモン教の祭式至上主義から内面の思索を重視したウパニシャッド哲学がそれである。ブラフマン（梵）とアートマン（我）とは一つであること（梵我一如）を悟り、輪廻からの解脱を説いた。
- ④ **正** 『シャクンタラー』はグプタ朝期の宮廷詩人カーリダーサによって作られた戯曲。サンスクリット文学の

代表的作品である。文は正しい。

◆整理 グプタ朝期の文化

- ・ **グプタ様式**：純インド的な表情を持つ。**アジャンター**石窟寺院・**エローラ**石窟寺院
- ・ 二大叙事詩：『**マハーバーラタ**』『**ラーマーヤナ**』
- ・ **サンスクリット文学**：**カーリダーサ**の戯曲『**シャクンタラー**』
- ・ 『**マヌ法典**』の大成：四つのヴァルナがそれぞれ遵守すべき規範について規定。
- ・ 天文学・文法学・数学の発達：インド数字・十進法・ゼロの概念→イスラーム世界へ。

C

問7 16 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、南北アメリカの発展。南北戦争に関する問題だ。時代を象徴するような作品を残した作家・画家は多い。時代、作者、作品を合わせて覚えよう。

ア ストウ夫人が入る。ストウ夫人が『**アングル＝トムの小屋**』を著し、奴隷制に反対した1852年頃は奴隷制を巡る南北対立が激化していた時期である。「**明白な天命**」(マニフェスト＝**ディステニー**)の下で領土拡大を進めていたアメリカは、新州の誕生のたびに北部の**自由州**と南部の**奴隷州**の間で帰属問題が起こっていた。1820年に北緯36度30分を自由州・奴隷州の境界とする取り決め(**ミズーリ協定**)が行われた。しかし、ミズーリ協定に基づけば自由州に分類されるが、主な産業が農業で、奴隷制を導入したいカンザス州・ネブラスカ州が州に昇格する際に南北対立が再燃した。1854年には**カンザス＝ネブラスカ法**が制定され、帰属は住民投票に委ねるというミズーリ協定を否定する法律が制定されたため、自由州は異を唱え、同年**共和党**を結成した。1860年、初めて共和党から大統領(**リンカン**)が出たことをきっかけに**1861年**、**南北戦争**が始まった。

イ リンカンが入る。**リンカン**は共和党の第16代アメリカ大統領である。南北対立が激化していた当時、彼が**共和党**初の大統領として当選したために**1861年**、南部諸州は連邦から分離し、**ジェファソン＝デヴィス**を大統領として**アメリカ連合**国を建国、**南北戦争**が始まった。北部は人口や経済力で圧倒的に勝っていたが、開戦当初リー将軍指揮下の南軍が優勢だった。リンカンは1862年に**ホームステッド法**を制定し開拓者の土地所有を認めることで西部農民の支持を得、**1863年**には**奴隷解放宣言**を発表して**内外世論の支持を得た**。そして同年の**ゲティスバーグの戦い**にグラント将軍の活躍によって勝利すると、北部は優勢に転じた。**1865年**には南部の首都リッチモンドが陥落して、南北戦争は終結、合衆国は再統一した。

※ヘミングウェー 20 世紀のアメリカの作家。スペイン内戦に国際義勇軍として従軍し、スペイン内戦を題材とした『誰がために鐘は鳴る』を著した。また、第一次世界大戦を題材にした『武器よさらば』という作品も残している。

※ラ＝ファイエット アメリカ独立戦争の際にアメリカ側について戦ったフランス人義勇兵。彼は終戦後、自国フランスに戻り、立憲君主派の中心としてフランス革命を主導し、国民議会を開催、人権宣言の起草、1791 年、憲法の制定などを行った。

※コシューシコ 同じくアメリカ独立戦争の際にアメリカ側について戦ったポーランド人義勇兵。1772 年からプロイセン・オーストリア（第 2 回不参加）・ロシアによって 3 度にわたって行われたポーランド分割で、分割に反対する義勇軍を率いた。彼の抵抗は失敗に終わり、ポーランドは 1795 年に消滅してしまった。

問 8 17 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野は、a 世界恐慌とファシズム諸国の侵略、b 南北アメリカの発展。アメリカの労働者に関する問題。労働問題は経済成長に伴って高揚する。また、経済成長を果たすと、不況時に労働者の不満が募り労働問題が浮上する。

a 正 ワグナー法は民主党のフランクリン＝ローズヴェルト大統領が取ったニューディール政策の一環。1929 年に起こった世界恐慌の影響でアメリカは不況に陥っており、資本主義の自然回復力に期待したフーヴァー大統領の政策によって恐慌はかえって拡大してしまった。逆境の中、大統領に就任したローズヴェルトはアダム＝スミスらの古典派経済学を否定し、ケインズが理論化した国家が経済に介入する修正資本主義を導入した政策、ニューディール政策を推進した。生産過剰を抑制するために農業調整法（AAA）、全国産業復興法（NIRA）を制定。一方で労働者の権利を保護するためにワグナー法を制定し、労働者の団結権・団体交渉権を認めた。これにより産業別労働者組織委員会（のち産業別組織会議、CIO）が成立、のちにアメリカ労働総同盟（AFL）と合同した。失業者対策としてはテネシー川流域開発公社（TVA）を設立し、公共事業で失業者を吸い上げた。文は正しい。

b 誤 アメリカ労働総同盟が結成されたのは 1886 年。南北統一後、世界一の工業国へと成長したアメリカは、一方で労働問題・農民運動が高揚していた。このとき結成されたのがアメリカ労働総同盟（AFL）である。文は誤り。

以上により、a - 正、b - 誤となる組み合わせの②が正解。

問 9 18 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国。女性参政権に関する問題だ。総力戦体制は市民平等の運動を引き起こす（公民権運動など）。アメリカで女性参政権が認められたのは、**ウイルソン**政権下の**1920**年である。**第一次世界大戦**（**1914**年～**1918**年）で戦場に動員された男性に代わって、女性が社会進出を果たした。正解は②。

（制作：安達滉一郎，今村優太）

2014年度 センター試験 本試験 世界史 B

第3問 世界史上の国際関係

出題範囲	16世紀～20世紀後半までの国際関係
難易度	★★★☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	2014年度の第3問は、歴史上の国際関係について出題された。Aでは近世から現代にかけての欧米諸国の外交政策について、Bはヨーロッパで起こった戦争について、Cはアジア地域における国際関係が出題されている。アメリカの対外政策を大統領ごとに整理するというように、各国別の外交を確認するとともに、戦争・紛争などに着目しながら各時代の国際情勢について復習していこう。特に第一次世界大戦、第二次世界大戦時の対立関係は必須である。

A

問1 **19** 正解は③

問題文 ★★☆☆☆☆

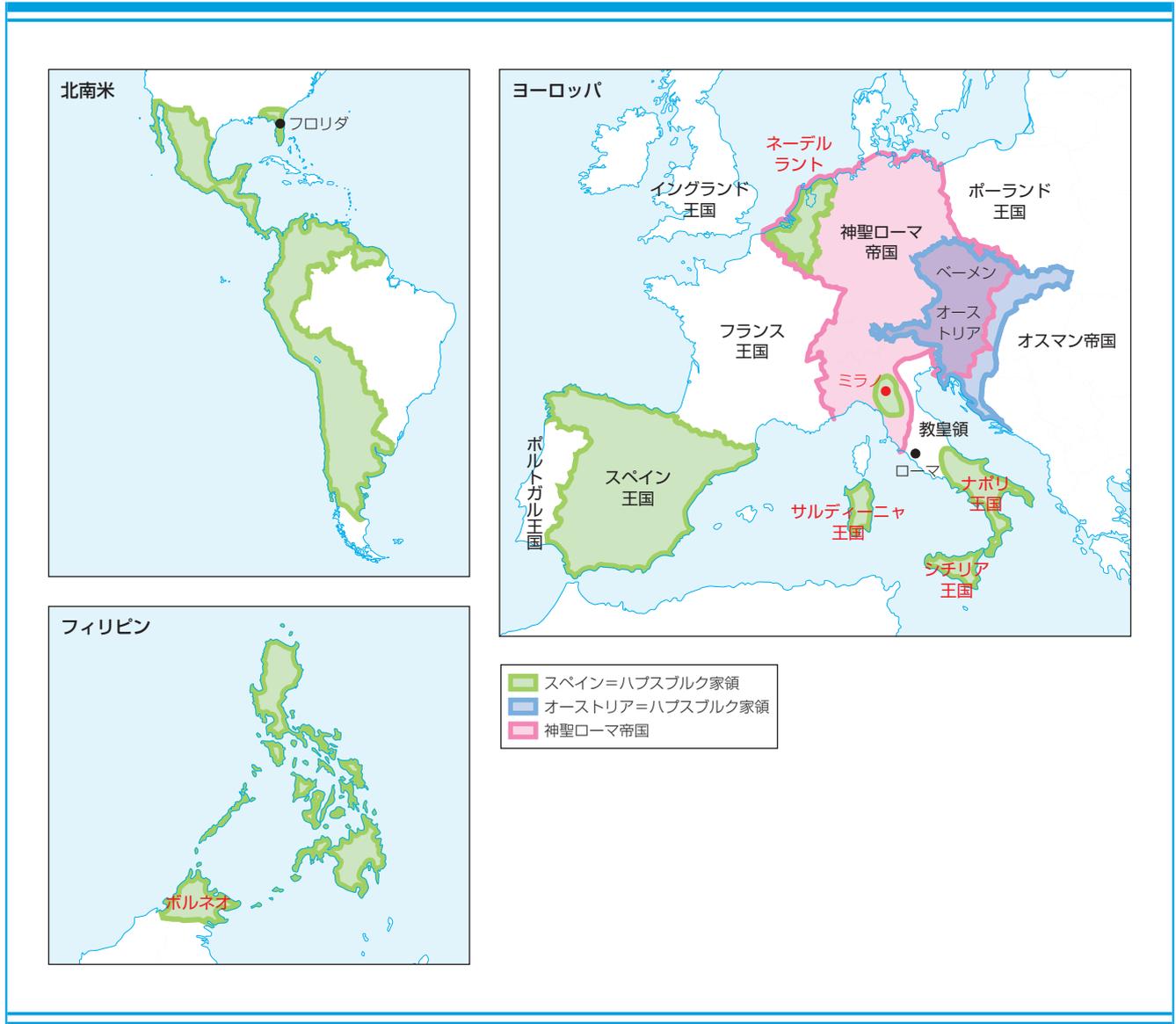
解説

出題分野は、ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成。正解は③。

- ア **フェリペ2世**が入る。**フェリペ2世**はスペイン＝ハプスブルク家の王で、その全盛期をもたらした人物。新大陸経営によって得た銀をもってヨーロッパの覇権を握った。1571年には**レパントの海戦**でオスマン帝国を破り、その脅威を一時和らげた。1680年には隣国**ポルトガルの王位を継承**し、アジア貿易の利権を手に入れたことで「太陽の沈まぬ国」を形成した。しかし、ポルトガルの併合を頂点に、以後スペインは衰退の道をたどる。彼は熱心なカトリック教徒で、支配下にあった**ネーデルラント**にカトリック化政策を実施した。商業の発達したネーデルラントにはカルヴァン派の新教徒（**ゴイセン**）が多かった。そのため北部7州は**ユトレヒト同盟**を結んで、**オラニエ公ウィレム**（オレンジ公ウィリアム）を中心に抵抗を続け（**オランダ独立戦争**）、1581年、**ネーデルラント連邦共和国**（オランダ）として独立を宣言した。豊かなオランダが反乱を起こしたことはスペインにとって大きな痛手だった。1588年、オランダの独立を支援したイギリスとスペインが開戦し、**無敵艦隊（アルマダ）を送ったがイギリス海軍に敗北**し、制海権を失った。
- イ **イギリス**が入る。テューダー朝の**エリザベス1世**のもとで**重商主義政策**を進め、積極的な海外進出に乗り出していたイギリスは、先に大航海時代を迎え海外に植民地を多く持っていたスペインと対立するようになっていった。イギリスの許可を受けた**私拿捕船**（海賊船）によるスペイン船への攻撃ではドレークやホーキングズが活躍し、**オランダ独立戦争ではオランダの独立を支援**した。エリザベス1世がスコットランドの前女王でカトリックのメアリ＝スチュアートを処刑したことがきっかけとなり、1588年に**アルマダ海戦**が勃発した。イギリス海軍はこの戦いに勝利し、**制海権を得た**。

※**カルロス 1 世** 近世におけるスペインの王で**フェリペ 2 世**の父。スペイン=ハプスブルク家の出身だが、1519 年には**カール 5 世**（在位 1519 年～ 1556 年）として神聖ローマ皇帝に選出された。彼はその治世の大半をフランス・オスマン帝国との戦いに費やした（**イタリア戦争**）。彼の退位後、ハプスブルク家はスペイン系とオーストリア系に分裂した。

◆地図 ハプスブルク家最大領土



問 2 20 正解は①

問文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、世界恐慌とファシズム諸国の侵略。スペイン内戦に関する問題。戦間期の世界ではソ連の影響を受けて各地で左派勢力が力を伸ばした。スペインでは 1931 年に左派が選挙で勝利し、王政が倒されると政局は混乱した（スペイン革命）。1936 年、アサーニャを首班とする人民戦線内閣が成立すると、軍人のフランコが旧王

党派や地主層など保守勢力の支持を受け反乱を起こした。こうしてスペイン内戦が始まった。他国の介入もあり内戦は小規模の国際紛争になったが、1939年にフランコ側の勝利に終わった。

a 正 諸外国の態度は以下のとおりであった。

イギリス・フランス→不干渉政策

ドイツ・イタリア →フランコ側を支援（イタリアが地中海地域の支配を目論んだため）

ソ連 →政府側を支援

b 正 欧米の社会主義者や知識人は国際義勇軍として政府側を支援した。アメリカのヘミングウェイ、フランスのマルロー、イギリスのオーウェルら有名な作家が参加し、それぞれ内戦を描いた作品を残している。

よって、a - 正, b - 正の組み合わせになる①が正解。

※『ゲルニカ』ピカソの大作。スペイン内戦の中でドイツに空爆され焦土となった都市ゲルニカを題材に描かれている。

問3 21 正解は②

問題文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は①世界恐慌とファシズム諸国の侵略, ②第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り, ③ヴェルサイユ体制下の欧米諸国, ④帝国主義と列強の展開。

- ① 誤 善隣外交を推進したのは「カストロ」ではなく、「フランクリン＝ローズヴェルト」。1929年に発生した世界恐慌は列強にブロック経済圏の形成を急がせた。アメリカのフランクリン＝ローズヴェルト大統領はドル経済圏を形成するためにラテンアメリカ諸国に対して善隣外交政策を取った（プラット条項を廃止し、キューバの独立を認めるなど）。また、フランクリン＝ローズヴェルトはソ連を承認したことで知られる。アメリカの外交政策に彼の業績は頻出するので、しっかり確認しておこう。
- ② 正 1962年のキューバ危機以来、人々は核戦争の脅威を認識し米ソ間の緊張緩和（デタント）を進めた。1969年に首相に選ばれた西ドイツのブラント首相はその影響を強く受けている。彼は社会主義諸国との関係改善を目指して東方外交に乗り出した。1970年にソ連・西ドイツ武力不行使条約を締結、同年西ドイツ・ポーランド条約を締結し戦後国境（オーデル＝ナイセ線）を認め国交を正常化した。1972年には両ドイツが相互に承認し（東西ドイツ基本条約）、翌年国連に同時加入した。ワルシャワ（ポーランドの首都）のゲットー跡地の記念碑前にひざまずき、ナチス＝ドイツの蛮行を謝罪した写真が象徴的である。
- ③ 誤 協調外交を推進したのは「アイゼンハウアー」ではなく「シュトレゼマン」。第一次世界大戦終結後、甚大な被害を出した大戦を反省し国際協調の機運が高まっていた。敗戦したドイツでは民主的な憲法であるヴァイマル憲法を基礎とするヴァイマル共和国が成立したが、莫大な賠償金とルール占領（1923年）による生産力低下でインフレーションに悩まされていた。1923年、首相に任命されたシュトレゼマンは新貨幣レンテンマルクを導入しインフレーションを克服した。その後、外相として国際協調の機運に乗り協調外交を展開して、ドイツの国際的地位の回復を図った。

- ④ 誤 棍棒外交を推進したのは「マッキンリー」ではなく「セオドア＝ローズヴェルト」。1865年の南北戦争終結以来、アメリカは世界一の工業国に向けて動き始める。同時に西部開拓も加速し、1890年代にはフロンティアが消滅した。19世紀末、国内市場の拡大が頭打ちになると、海外への積極的進出へ乗り出した（帝国主義）。以下、19世紀末から第一次世界大戦前までのアメリカの外交政策をまとめた。設問中のセオドア＝ローズヴェルトとマッキンリーも登場する。

※カストロ キューバ革命を起こした指導者。1959年、親米的なバティスタ独裁政権を倒し、革命政府を樹立した。1961年、キューバはアメリカと断交し、社会主義宣言を発してソ連に接近した。キューバ革命の波及を恐れたアメリカは、ケネディ大統領の下でキューバを除いたラテンアメリカ諸国と「進歩のための同盟」を結成し、1964年には米州機構加盟国はキューバと断交した。

※アイゼンハウアー 冷戦期のアメリカ大統領である。朝鮮戦争（1950年～1953年）を終結させ、ソ連との対話を促進した。アメリカ経済は安定した成長を続けていたが、差別されてきた黒人の存在が認識されるようになり公民権運動が拡大した。ちなみに第二次世界大戦中は連合国の勝利を決定づけたノルマンディー上陸作戦の指揮官だった。

◆整理 19世紀末から第一次世界大戦前までのアメリカの外交政策

マッキンリー大統領（在任 1897年～1901年）→カリブ海・太平洋（中国含む）への進出

- | | | |
|----------------|--------------------|---|
| 1898年 | アメリカ＝スペイン戦争 | <ul style="list-style-type: none"> ・キューバの独立運動を機に開戦。 ・アメリカの勝利。フィリピン・グアム・プエルトリコ獲得。
キューバ保護国化（プラット条項）。 ・ハワイ併合。 |
| 1899～
1900年 | 門戸開放宣言 | <ul style="list-style-type: none"> ・国務長官ジョン＝ヘイによる宣言。 ・中国分割の緩和。 ・門戸開放・機会均等・領土保全の3原則。 ・中国市場への進出を図った。 |

セオドア＝ローズヴェルト大統領（在任 1901年～1909年）→カリブ海地域への武力干渉（棍棒外交）

1904年 **パナマ運河建設**に着手

タフト大統領（在任 1909年～1913年）→カリブ海地域への経済力の浸透（ドル外交）

ウィルソン大統領（在任 1913年～1921年）→カリブ海でアメリカ民主主義の道義的意義を説く（宣教師外交）

1914年 **パナマ運河の完成** ・管理権を掌握。覇権的地位を確立した。

B

問 4 22 正解は①

問題文 ★☆☆☆☆

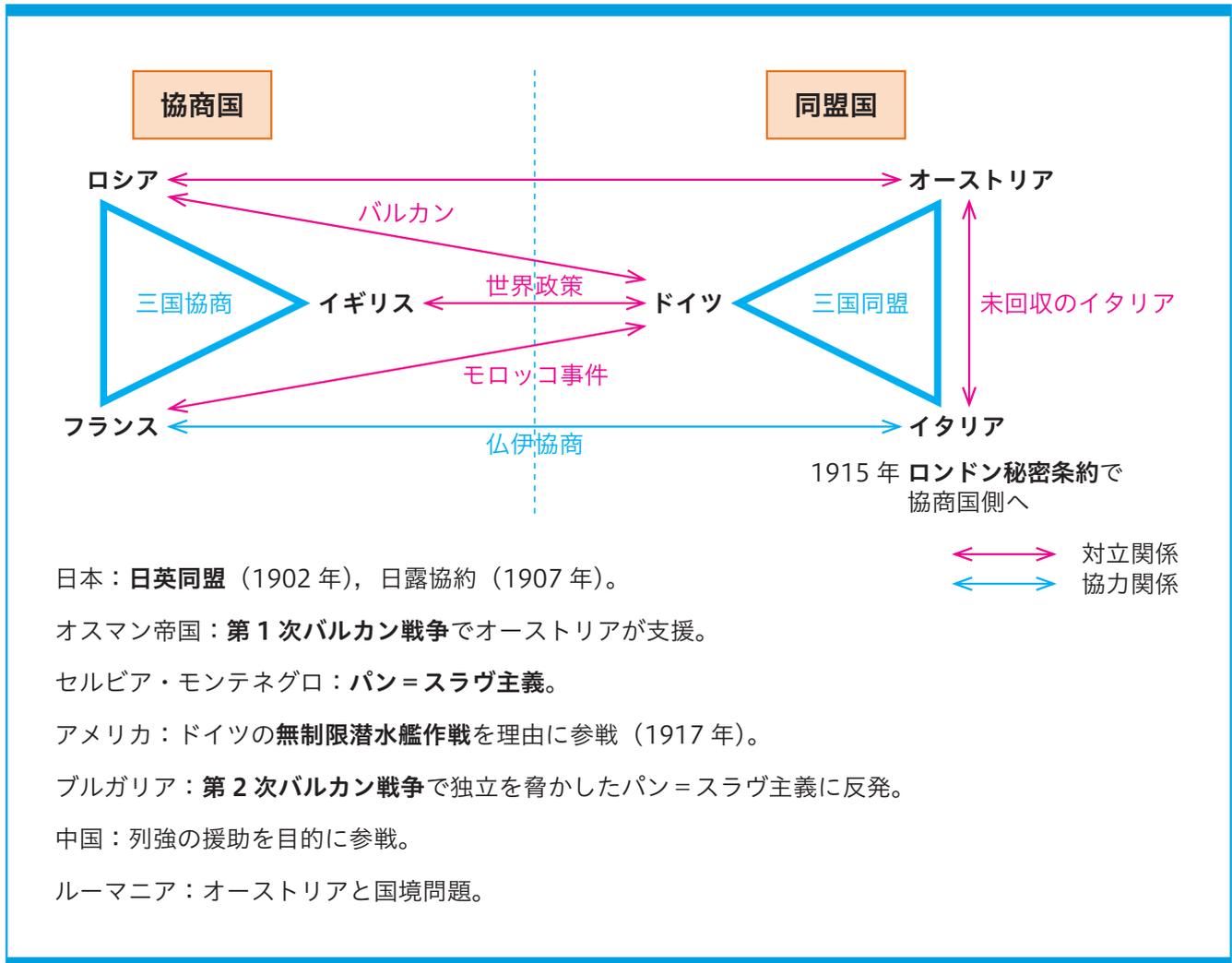
解説

出題分野は、帝国主義と列強の展開。アードイツ、イギリスの組み合わせになる①が正解。

- ア ドイツが入る。1871 年のドイツ帝国の成立以来、宰相ビスマルクは敵国フランスの孤立と自国ドイツの安全を企図したビスマルク体制の構築を目指し、複雑な同盟外交を展開した。しかしヴィルヘルム 2 世が帝位につくと、積極的な対外膨張策（世界政策）を取り、列強同士の均衡を重視したビスマルクを退けた。彼は強引な帝国主義政策の下、海軍の大拡張を図ってイギリスを脅かした。また、オーストリアとともに国内外のドイツ人の統合を図るパン＝ゲルマン主義を掲げ、バルカン半島にてロシアの掲げるパン＝スラヴ主義との衝突が避けられずロシアとの再保障条約を破棄した。ビスマルク体制下で孤立させられていたフランスは独露間の対立に伴いロシアに接近し、露仏同盟を結んで共同でドイツに対抗した。
- イ イギリスが入る。19 世紀半ば「世界の工場」として覇権的な地位を持っていたイギリスは圧倒的な海軍力を背景に世界各地に自由貿易を推し進めた。しかし、ドイツの海軍の拡張を基盤にした世界政策はイギリスの繁栄を脅かすものとして、ドイツと対立した。

※イタリア イタリアはビスマルク体制下でドイツ・オーストリアとともに三国同盟を結んでいた。しかし、第一次世界大戦の際には協商国側で参戦していたことに注意が必要である。「未回収のイタリア」問題でオーストリアと対立しており、1915 年のロンドン秘密条約で三国同盟を脱退した。

◆整理 第一次世界大戦における対立軸



問5 23 正解は③

問題文 ★★★☆☆

解説

出題分野は①、②フランス革命とナポレオン、③ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、④ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成。下線部④の条約はヴェルサイユ条約である。ヴェルサイユ条約は1919年に結ばれた第一次世界大戦における連合国とドイツの講和条約である。その内容は以下のとおり。

- ・ドイツは海外の全植民地を放棄。戦勝国が委任統治領として分割。
- ・アルザス・ロレーヌをフランスに返還。
- ・ポーランドなど周辺国に国境地域を割譲。
- ・ラインラントの非武装化。
- ・軍備制限。
- ・巨額の賠償金（1,320億金マルク）支払い。
- ・国際連盟の設立。

丸暗記ではなく、前後とのつながりで覚えよう。

- ① 誤 **ライン同盟**とはナポレオンによって結成されたプロイセン・オーストリア以外の神聖ローマ帝国諸邦による同盟である。この際、神聖ローマ皇帝が退位し、神聖ローマ帝国が名実ともに消滅した。したがって文は正しくない。
- ② 誤 **第1回対仏大同盟**は**フランス革命**の波及を恐れた周辺の君主制国家によって結成された同盟であるため、文は正しくない。1793年、イギリス首相**ピット**によって提唱され、イギリス・オーストリア・プロイセンといった国が参加した。しかし、**ナポレオン=ボナパルト**のイタリア遠征によってオーストリア軍が破られると第1回対仏大同盟は崩壊した。その後も数回にわたり対仏大同盟は結成された。
- ③ 正 **ヴェルサイユ条約**によってドイツの軍備は縮小された。徴兵制・潜水艦・空軍は禁止、陸軍は10万人以下、海軍は10万トン以下に制限された。また、**ラインラント**への駐留が禁止された。したがって文は正しい。
- ④ 誤 スイスの独立が承認されたのは**1648**年に締結された**ウェストファリア条約**による。ウェストファリア条約は最大の宗教戦争と称される**三十年戦争**の講和条約であり、ヨーロッパ諸国・オスマン帝国によって締結された。ヨーロッパの**主権国家体制**を確立した。したがって文は正しくない。

◆整理 神聖ローマ帝国の解体

Step1 ウェストファリア条約による事実上解体

神聖ローマ帝国は、1648年に結ばれた**三十年戦争**の講和条約ウェストファリア条約にて諸邦の主権が確立された際に事実上解体した。この条約は「神聖ローマ帝国の死亡診断書」と言われる。

Step2 ナポレオンによる解体

ナポレオン1世を盟主とし、プロイセン・オーストリア以外の神聖ローマ帝国諸邦により**ライン同盟**が結成（1806年）。

Step3 ウィーン条約の例外

正統主義を掲げた**ウィーン条約**だったが、例外的に神聖ローマ帝国は復活しなかった。ライン同盟をもとにし、オーストリアを盟主とする**ドイツ連邦**が成立した。

◆整理 ウェストファリア条約の内容

- ・領邦主権の確立
- ・アウクスブルクの和議（1555年）を再確認。ルター派のほかカルヴァン派も認めた。
- ・フランスがアルザス地方を獲得。
- ・スウェーデンがバルト海南岸を獲得。強国として台頭。
- ・スイス・オランダの独立を国際的に承認。

問6 24 正解は③

問題文 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立。ニュルンベルク国際軍事裁判は第二次世界大戦におけるナチス＝ドイツの戦争犯罪責任を追及した裁判である。そのため、第二次世界大戦の終結直後であると考えればよい。同時期に日本では極東国際軍事裁判が開かれた。この二つの裁判はセットにして覚えておこう。

C

問7 25 正解は④

問題文 ★★★★★

解説

出題分野は、第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り。b → c → a の順序になる組み合わせの④が正解。東側諸国の一つであった中国が国境問題をきっかけにソ連から離反し (b)、西側陣営の中心であるアメリカが中国に接近 (c)、アメリカの接近に合わせて他の西側諸国も接近した (a) と考えるとわかりやすい。冷戦期の国際情勢について、米ソ両大国の勢力の拡大縮小に着目しながら復習しておこう。

- a 米中接近は各国に波紋を広げ、日本の田中角栄首相も1972年に北京を訪問して、日中共同声明を出して日中国交正常化を果たした。1978年には日中平和友好条約を結んだ。
- b ソ連と中国は冷戦開始当初、同じ共産主義国として友好関係を結んでいた (中ソ友好同盟相互援助条約)。しかし、中国内部で強引な工業化・農業集団化政策や共産党支配への批判が強まり、毛沢東主席は大躍進運動を行って反撃を図るも、多大な犠牲を出して失敗に終わった。また、1959年にはチベットを巡ってインド軍と衝突した (中印国境紛争)。内外に危機を抱えた毛沢東は、帝国主義との対決姿勢を表すことで党の指導力の確保を図った。当時、ソ連はフルシチョフ第一書記の下で資本主義諸国との平和共存と緊張緩和を表明しており、毛沢東はこれを修正主義と批判した。ソ連も毛沢東を非難して、1960年には中国への経済援助を停止、ソ連技術者の引き上げを行った。1963年には公開論争に発展した中ソ対立は、1969年に軍事衝突に発展した (中ソ国境紛争)。

- c アメリカは、**公民権運動**の拡大や**ヴェトナム戦争**の泥沼化などによって、1960年代後半以降、覇権的地位が揺らぎ始めていた。そのため**中華人民共和国**を認めず、**中華民国**（台湾）を正式な政府だとする姿勢を取り続けることが難しくなっていた。1971年には国連の**代表権**が中華民国から中華人民共和国に代わり、1971年にはキッシンジャー大統領補佐官が北京を訪れた。翌**1972年にニクソン大統領が訪中**し、**毛沢東**と会談、**中華人民共和国**を正式な政府であると承認した。1979年には米中国交正常化が果たされた。

問 8 26 正解は④

問題文 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展、②、③地域紛争の激化と深刻化する貧困、④第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り。

- ① 正 ソ連の解体は**1991**年である。ソ連は1970年代には経済成長の鈍化、農業生産の不調、先端電子部門の立ち遅れ、環境汚染、文化面の停滞といった全般的な停滞傾向に陥っていた。1979年には社会主義勢力支援の目的で**アフガニスタン**に侵攻したが、反政府ゲリラの抵抗・国際世論の批判・アメリカとの緊張といった負の要素を抱え込む結果に終わった。改革の必要性が叫ばれ、**ゴルバチョフ**が書記長に就任した。ゴルバチョフは情報公開（**グラスノスチ**）による言論の自由を打ち出した。1986年、ウクライナの**チェルノブイリ原子力発電所**で事故が起こると、改革の必要性は広く認められた。ゴルバチョフは**ペレストロイカ**（改革）を打ち出し、政治・社会体制の全面的見直しを行った。同時に冷戦からの脱却に動き出し、1989年にはアフガニスタンから撤兵した。しかし、内外の急激な変化はソ連内の民族独立運動を引き起こし、**1991**年にソ連は解体した。
- ② 正 イラクは1979年、アラブの統一と社会主義を掲げるバース党の**サダム＝フセイン**が大統領に任命された。1980年、隣国イランと国境紛争から始まる**イラン＝イラク戦争**を起こし、**1990**年にはクウェートに侵攻した。アメリカを中心とする多国籍軍と戦ったこの戦争が**湾岸戦争**である。2003年、大量破壊兵器の所持が疑われ、米英の攻撃を受けてフセイン政権は打倒された（**イラク戦争**）。
- ③ 正 1947年、インドとパキスタンが分裂して以来、両国は常に敵対関係にある。1947年と1965年の2回両国国境付近にある**カシミール**の帰属問題を巡ってインド＝パキスタン戦争が起こり、1971年には**バングラディシュ**（もと東パキスタン）の独立を巡り争っている。1974年にはインドが核保有国になった。**1998**年にはインドの核実験に対抗してパキスタンも核実験を行い、新たな核保有国となった。
- ④ 誤 ^{パクチョンヒ}**朴正熙**は1960年に学生運動により失脚した^{イソンマン}**李承晩**のあと、**1963**年にクーデタによって政権を握った。経済発展に重点を置き、**開発独裁**を行った。1965年には**日韓基本条約**を結び、日本と国交を結んだのも**朴正熙**である。^{パククネ}**朴正熙**大統領の娘が**朴槿恵**大統領。

問 9 27 正解は①

問題文 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、ヨーロッパ世界の拡大。マカオが元ポルトガル領であるというのは、常識の範疇であるから悩むことなく解答してほしいが、問題中の言葉からある程度は絞り込める。

16世紀に大航海時代を迎えたのは、①ポルトガルと②スペインだけである。フィリピンを除いてアジアは主にポルトガルの勢力下にあったことを考えると、正解は①のポルトガルとなるだろう。③オランダの海外進出は17世紀前半、④イギリスとフランスの海外進出は17世紀以降である。1557年、ポルトガルはマカオに居住権を得て、広州を通して対明貿易を行った。

(安達滉一郎, 谷口昂輝)

2014年度 センター試験 本試験 世界史 B

第4問 世界史における過去の認識のあり方

出題範囲	古代ギリシア, イスラーム教の誕生, 20世紀前半に至る歴史認識
難易度	★★★☆☆
所要時間	10分
傾向と対策	2014年度の第4問は, 世界史における過去の認識のあり方についての問題が出題された。Aはイスラーム教に関して, Bはロシア, ソ連の歴史に関して, Cはナチス=ドイツや世界史上の迫害についてそれぞれ出題された。地理的な知識が求められる問題や, 人物と事績の組み合わせを問う問題が多く見られた。日ごろから資料集などに載っている地図, 表などを使って抜けや漏れのない学習を心掛けよう。

A

問1 **28** 正解は②

問題文 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は, イスラーム世界の形成。メディナの位置に関する問題。聖遷は頻出事項なのでよく覚えておこう。問題文で示されている都市は **b** の **メディナ** である。**メッカ** が記載されていないだけ, やさしい問題と言える。**メッカ** で迫害に遭った **ムハンマド** は迫害を逃れて 622 年に **メディナ** へ逃れた (**ヒジュラ** **聖遷**)。メッカとメディナの位置関係については, 聖遷後のムハンマドの帝国が広がった方向で覚えるとよいだろう。632 年にアラビア半島を統一すると, **正統カリフ時代** には **ササン朝ペルシア** を征服し, **ビザンツ帝国** からシリア・エジプトを奪った。**ウマイヤ朝時代** には版図をスペインまで広げた。732 年には, **トゥール=ポワティエ** 間の戦いでフランク王国と戦うに至っている。イスラーム教は北上していると考えれば, メディナはメッカの北にあると覚えられよう。ちなみに **c** はバスラ, **d** はテヘラン。

※**アレクサンドリア** 図中の **a**。アレクサンドロス大王の東方遠征の途上に建設された。**プトレマイオス朝** の支配下では王立研究所 (**ムセイオン**) が核となり, **ヘレニズム文化** の中心を担った。ローマによる支配の後も繁栄を続け, **五本山** の一角を占めた。

問2 **29** 正解は③

問題文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は①, ④イスラーム世界の形成, ②インドの古典文明, ③イスラーム文明の発展。イスラーム教の用語に関する問題。どれも基本単語なので確実に覚えよう。

- ① 誤 「ジハード」とは「**聖戦**」のこと。イスラーム教における異教徒との戦いを指し示す言葉である。下線部を表す語としては正しくない。
- ② 誤 「バクティ」は7世紀ごろからインドで流行した**民衆の宗教運動**のこと。**ヒन्दゥー教**の神々への絶対的帰依を協調する傾向が強かった。**バクティ信仰**は16世紀にパンジャブ地方で**シク教**を生み出す土台にもなった。下線部を表す語としては正しくない。
- ③ **正** 「**スーフィズム**」とは「**イスラーム神秘主義**」のこと。10世紀以降都市の職人や農民に拡大していった。形式的な信仰を廃止し、神との一体感を求める教えで、アラビア語を知らなくてもイスラーム教に触れられるとあってイスラーム教の**東方への伝播を促進した**。また、イスラーム神秘主義者はスーフィーという。11世紀から12世紀のセルジューク朝期に活躍した神学者の**ガザーリー**はスンナ派神学の中にスーフィズムを導入した。
- ④ 誤 「**シャリーア**」とは「**イスラーム法**」のことである。政教一致のイスラーム教において**コーラン**に基づいた**イスラーム法**は法律に等しい。各地の**マドラサ**（学院）で研究され、**ウラマー**（学者）を養成してきた。下線部を表す語としては正しくない。

問3 30 **正解は④**

問題文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、**a** ルネサンス、**b** 中国の古典文明。**a** - 誤、**b** - 誤の組み合わせとなる**④**が正解。

- a** **誤** **人文主義**（ヒューマニズム）は**ギリシア人・ローマ人**の古典文化を重視した。人文主義は**ルネサンス**における根本思想であり、中世ヨーロッパの古典古代文化、キリスト教文化、ゲルマン文化の融合した文化からの脱却を目指した。14世紀から16世紀にかけてイタリアの**フィレンツェ**を中心にヨーロッパ各地で栄え、カトリック教会の腐敗に伴って、カトリックからの解放を目指し人間らしい生き方を追求した（カトリックのヨーロッパ普及はローマ帝国末期の**ミラノ勅令**以降）。同時期にカトリック教会を否定した**宗教改革**が起こったことと、併せて覚えたい。
- b** **誤** **王莽**が理想としたのは**周**。**王莽**は中国の王朝、**新**の創始者。**前漢**が宦官・外戚の権力争いによって弱体化すると、その中で勢力を伸ばした外戚の**王莽**が漢の皇帝を廃位して、**新**を建てた。新は儒教の理想である**周**を理想とし、実情に合わない周代の制度を復活する改革を行ったため、各地で反乱が起こり（**赤眉の乱**）滅亡した。中国の王朝について、成立した順番と世紀を確認しておくこと、このような問題も容易に正解できる。

B

問 4 31 正解は④

問題文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、重商主義と啓蒙専制主義。ア-ピョートル1世、イ-ペテルブルクの組み合わせになる④が正解。

ア **ピョートル1世**が入る。**ピョートル1世**はロシアの**ロマノフ朝**の皇帝で、ロシアにおける絶対王政を確立した人物である。当時西欧は絶対王政や重商主義政策、主権国家体制の成立など近代的な制度作りを進めていた。立ち遅れていたロシアはピョートル1世の下で**西欧化政策**（西欧諸国視察）を実施し、内政改革・産業振興・軍備拡張といった種々の改革を行った。軍備拡張を背景に東方に向けてシベリア経営を進め、中国の清朝の**康熙帝**と**ネルチンスク条約**（1689年）を結び国境を画定させた。南方ではオスマン帝国を圧迫し、アゾフ海に進出した。北方では三十年戦争（1618年～1648年）ののち、スウェーデンがバルト海の覇権を握っていたが、王位の交代が起こり年少の**カール12世**が王位に就くと、ピョートル1世はポーランド・デンマークと結んでスウェーデンを攻撃した（**北方戦争**、1700年～1721年）。この戦争にロシアは勝利し、バルト海の覇者になった。その後、バルト海沿岸に新たに**ペテルブルクを建設し、1712年に首都と定めた**（1712年以前の首都は**モスクワ**）。ピョートル1世の事績は頻出なので復習しておこう。

※**イヴァン4世** **モスクワ大公国**の皇帝。**イヴァン3世**の孫。正式に**ツァーリ**を称し、中央集権化に着手した。

※**モスクワ大公国** 15世紀に商業によって勢力を伸ばし、**イヴァン3世**のときに東北ロシアを統一、1480年にはモンゴル人の支配から自立した。**ビザンツ帝国**最後の皇帝の姪であるソフィアと結婚してローマ帝国の後継者を自認し、**ツァーリ**（皇帝）と名乗った。

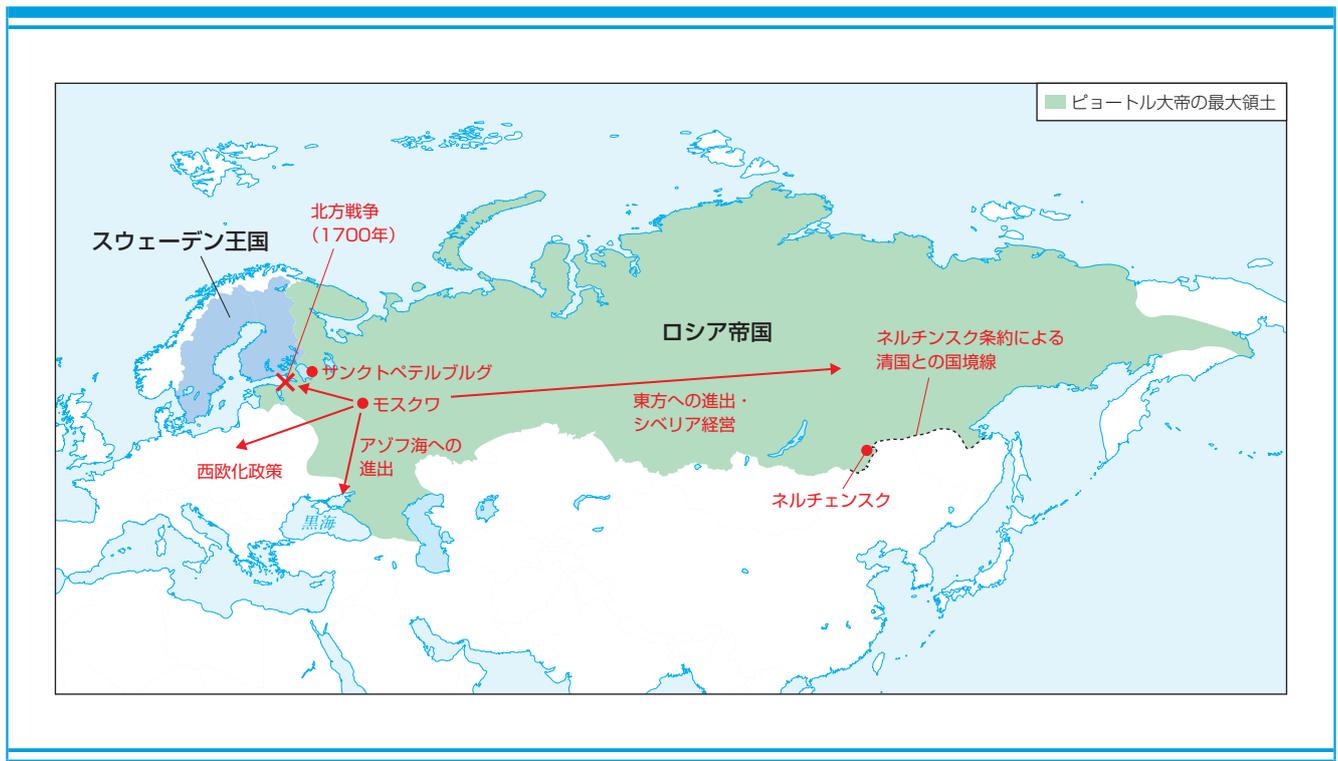
イ **ペテルブルク**（**サンクト=ペテルブルク**）が入る。ペテルブルクが首都となった経緯は**アの解説**を参照してほしい。**ペテルブルク**は「西洋への扉」と呼ばれ、1914年まで約200年間ロシアの首都だった。名前の由来は**ピョートル1世**が自分と同名の聖人「ペテロ」にちなんでつけたもの。「ブルク」はドイツ語で「城塞（都市）」のこと。西欧への憧れが表れているといえよう。「ペテルブルク」の名前は時代を反映して変更されていく。1914年に第一次世界大戦が始まると、「**ペトログラード**」に改名する。ドイツが敵国となり、ドイツ語の「ブルク」をロシア語の「グラード」に変更した。その後、**ロシア革命**（1917年）が起こり、**レーニン**が**ソヴィエト社会主義共和国連邦**を成立させると、「**レニングラード**」に改名された。「ペテロ」は革命によって滅ぼした帝政ロシアの皇帝の名であるため、ソ連の指導者レーニンの名をもじった首都名に変更された。1991年にソ連が崩壊すると、首都名は元の「**サンクト=ペテルブルク**」に戻った。

※**モスクワ** もともと**モスクワ大公国**の首都であったが、1712年にペテルブルクに遷都した。**ロシア革命**ののち、1918年に**モスクワ**に首都が移され、ロシア連邦が成立した現在も首都はモスクワに置かれている。

◆整理 17 世紀後半～18 世紀初頭の各国君主

ロシア：ロマノフ朝の最盛期＝**ピョートル 1 世**（在位 1682 年～1725 年）
 中国：清朝の最盛期＝**康熙帝**（在位 1661 年～1722 年）
 フランス：ブルボン朝の最盛期＝**ルイ 14 世**（在位 1643 年～1715 年）
 インド：ムガル帝国の最盛期＝**アウラングゼーブ帝**（在位 1658 年～1707 年）
 上記は、ほぼ同時代（17 世紀後半～18 世紀初頭）の人物だと覚えておくと便利。

ピョートル 1 世の進出

問 5 **32** 正解は①

問題文 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、ローマ世界。歴史書に関する問題。文化史における人名は混乱しがちなので、点差が付きやすい。時間をかけて定着させよう。

『ローマ建国史（ローマ史）』の著者はリウィウスである。リウィウスはローマ帝国の歴史家。ローマ建国伝説からの通史を著している。よって、正解は①。

※**トゥキディデス**（トゥキュディデス）『歴史』の著者。アテネ出身の歴史家で**ペロポネソス戦争**（B.C.431 年～B.C.404 年）を題材に『歴史』を著した。批判的・科学的な叙述が特徴である。同時期に活躍したギリシア

の歴史家ヘロドトスの『歴史』と混同しないように注意。

※ヘロドトス こちらはペルシア戦争（B.C.500年～B.C.449年）を題材に『歴史』を著して、ヘロドトスは「歴史の父」と称された。

※『歴史序説（世界史序説）』イブン＝ハルドゥーンが著した歴史書。イブン＝ハルドゥーンはイスラーム教国マムルーク朝のチュニジア出身の歴史家である。都市と遊牧民の交渉を中心に王朝興亡の歴史に法則性があることを論じた。

◆参考 人名からギリシアとローマを区別する

ギリシア・ローマ・ヘレニズム文化を単語から区別する方法がある。各単語の語尾に注目しよう。

「-os」はギリシア語でよく用いられる語尾で、ギリシア・ヘレニズム文化で出てくる言葉の語尾は「-os」であることが多い。

「-us」はラテン語でよく用いられる語尾で、ローマで出てくる言葉の語尾は「-us」であることが多い。

※ローマ史に登場するエウセビオス（教父）・ポリビオス（『歴史』）・プルタルコス（『対比列伝』）はギリシア出身のローマ市民。プトレマイオス（天動説）はアレクサンドリアで活躍した。

・語尾が「-os」の単語

ギリシア：ペイシストラトス（僭主）・デロス同盟（アテネを中心とした同盟）・ペロポネソス戦争・フィリッポス2世（マケドニアの王）・アレクサンドロス

ギリシア文化：ホメロス（『イリアス』）・ヘシオドス（『労働と日々』）・ヘロドトス（『歴史』）

ヘレニズム文化：アンティゴノス朝・セレウコス朝・プトレマイオス朝・アリストアルコス（太陽中心説）

・語尾が「-us」の単語

ローマ：リキニウス・セクスティウス法・ホルテンシウス法・ブルートウス（共和派）・アントニウス・オクタウィアヌス（第2回三頭政治）・アウグストウス（尊厳者）・ディオクレティアヌス帝・コンスタンティヌス帝・テオドシウス帝・アタナシウス派・ネストリウス派・アウグスティヌス（教父）・コロッセウム（闘技場）・ユリウス暦・ウェルギリウス（『アエネイス』）・リウィウス（『ローマ史』）・タキトウス（『ゲルマニア』）

問 6 33 正解は①

問題文

解説

出題分野は、世界分割と列強対立。正解は①のマーシャル諸島。

- ① 正 ドイツは第一次世界大戦後のヴェルサイユ条約によって海外植民地をすべて放棄したが、大戦前には主に太平洋・アフリカ・中近東・中国に力を及ぼしていた。

太平洋：ビスマルク諸島・カロリン諸島・マリアナ諸島・**マーシャル諸島**・パラオ諸島（第一次世界大戦後、赤道以北のドイツ領は日本の委任統治領に）。

アフリカ：カメルーン・南西アフリカ・東アフリカ・トーゴ（**モロッコ事件**の失敗により、モロッコはフランス領に）。

中近東：バグダード鉄道敷設権（ベルリン－ビザンティウム＝イスタンブル－バグダードを結ぶ **3B 政策**の推進）。

中国：^{こうしゅうわん}膠州湾を租借。山東省を勢力下に置く。

- ② 誤 **プエルトリコ**はカリブ海に浮かぶ島で、16 世紀（大航海時代）にスペインの植民地になったが、1898 年のアメリカ＝スペイン戦争（**米西戦争**）の結果、**アメリカ領**となった。現在もアメリカが領有する。
- ③ 誤 **スマトラ**はマレー半島の西部に位置する大きい島である。17 世紀に**オランダ**が侵入し、1904 年にスマトラ島北部にある**アチェ王国**が滅ぼされると、**オランダ領東インド**に編入された。
- ④ 誤 **タスマニア**はオーストラリア南東部に浮かぶ島で、**イギリス植民地**の一部であった。名前の由来はオーストラリア・ニュージーランドを調査した 17 世紀のオランダの航海者タスマンにちなむ。

C

問 7 34 正解は②

問題文 ★★★☆☆

解説

出題分野は①ローマ世界、②ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成、③ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展、④古代オリエント世界。誤りを含む選択肢を選ぶことに、まず留意しよう。

- ① 正 1 世紀に成立した**キリスト教**は使徒**ペテロ・パウロ**によってローマにもたらされたが、皇帝崇拝を拒否する姿勢から反社会的集団とみなされた。64 年には**ネロ帝**による迫害が行われ、ペテロ・パウロが殉教した。**ディオクレティアヌス帝**は 303 年に**専制君主政**を打ち出し、**皇帝崇拝を強要したのに伴ってキリスト教徒の大迫害を行った**。しかし、キリスト教の拡大に歯止めはかからず、**313 年にコンスタンティヌス帝がミラノ勅令**を出し、**キリスト教を公認**した。文は正しい。
- ② 誤 ナントの王令（勅令）を廃止したために亡命したのは**ユグノー**。16 世紀の**宗教改革**の流れの中で**カルヴァンの予定説**を中心とした考え方が普及し、1562 年には旧教国フランスにおいて、カトリックとユグノー

の間でユグノー戦争が勃発した。ブルボン家のアンリ 4 世は王位に就くと旧教に改宗し、1598 年にナントの勅令でユグノーにも大幅な自由を与えてユグノー戦争を終わらせた。しかし、ブルボン朝下で絶対王政が発達すると、絶対王政の最盛期ルイ 14 世は王権神授説を唱え、ナントの勅令を廃止（1685 年）した。結果、ユグノーの商工業者が多数亡命し国内産業の発展も阻害された。文は誤り。

- ③ 正 ムガル帝国のアウラングゼーブ帝は最大の領土を達成した。今まで統治にはヒンドゥー教徒の力を借りなければならなかったため、ヒンドゥー教を厚遇してきたが、その必要がなくなったということである。熱心なスンナ派ムスリムであったアウラングゼーブ帝はヒンドゥー教寺院を破壊し、人頭税（ジズヤ）を復活させるなどヒンドゥー教徒を圧迫する政策を取った。アウラングゼーブ帝の死後、帝国は解体に向かった。文は正しい。
- ④ 正 ソロモン王の死後、ヘブライ王国は南北に分裂した。北部のイスラエル王国はアッシリアに滅ぼされ、南部のユダ王国も新バビロニアに征服された。ユダ王国にいたヘブライ人は、B.C.586 年に住民の多くが新バビロニアの首都であるバビロンに連れ去られ、強制労働に従事させられた（バビロン捕囚）。捕囚生活は、B.C.538 年にアケメネス朝ペルシアのキュロス 2 世に解放されるまで約 50 年間続いた。この苦難の経験が、唯一神ヤハウェの信仰と選民思想につながり、ユダヤ教成立の基盤となった。文は正しい。

※カルヴァン派の呼び方は各地で異なる。ユグノー（フランス）／ゴイセン（オランダ）／プレスビテリアン（スコットランド）／ピューリタン（イングランド）

問 8 35 正解は②

問題文 ★★★★★

解説

出題分野は、第二次世界大戦。ペタンとヴィシー政府、アヴィニヨンと教皇のバビロン捕囚、ド＝ゴールと自由フランス政府などはセットにして覚えよう。ア＝ヴィシー、イ＝ド＝ゴールの組み合わせになる②が正解。

ア ヴィシーが入る。1939 年 9 月にドイツ軍のポーランド侵攻から始まった第二次世界大戦は当初ドイツが電撃戦を展開し優勢に立っていた。1940 年 4 月にデンマーク・ノルウェー侵攻、5 月にオランダ・ベルギー侵攻、さらにフランスに侵攻し 6 月にはパリを占領した。フランス第三共和政は崩壊し、ペタン政府が成立してドイツに降伏した。フランスの北半分はドイツに占領され、南半分にペタン率いるヴィシー政府が成立した。ヴィシー政府はナチス＝ドイツの傀儡^{かいらい}政権であった。

イ ド＝ゴールが入る。ド＝ゴールらは降伏を拒否し、1940 年のフランス降伏の際にロンドンに亡命した。ド＝ゴールはロンドンで亡命政府（自由フランス政府）を組織して抗戦を呼びかけた。フランス各地ではレジスタンスがドイツに対する抵抗運動を展開した。

※アヴィニヨン 南フランスの都市で「教皇のバビロン捕囚」において教皇庁がローマから移転した都市である。

※ペタン 第二次世界大戦においてドイツに降伏し、傀儡政権であるヴィシー政府を率いたフランスの首相。

問 9 36 正解は③

問題文 ★★★☆☆

解説

出題分野は、ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生。パリに関する問題。年表問題は年号を覚えておけば簡単に解ける。年号を覚えている人がいないようなマニアックな事項に関しては前後との流れで答えよう。今回の問題は前者。

パリ＝コミューンの成立は 1871 年である。1870 年、プロイセン＝フランス戦争（普仏戦争）においてプロイセン軍にナポレオン 3 世は捕らえられ第二帝政は崩壊した。ティエールを首班とする臨時政府が成立し仮講和を締結するが、フランスに不利な内容であったため不満を持ったパリの市民・労働者によって 1871 年にパリ・コミューンが成立した。労働者・小市民による初の革命的自治政府であったが、臨時政府に鎮圧された。よって、c にあたる③が正解。

※ドレフュス事件 臨時政府の統治期には政局が不安定で第三共和政に対する軍部の不満が高まっていた。軍部はユダヤ系軍人のドレフュスを、冤罪と知りながらもドイツのスパイ容疑で有罪とした（ドレフュス事件）が、作家のゾラの活躍で無罪に覆った。同時期にブーランジェ事件もあり軍部の信用は失墜した。この事件をきっかけにユダヤ人に対する差別意識があらわになり、シオニズムと呼ばれるユダヤ人の国家建設運動が始まった。

（安達滉一郎，的場光紀）